



学校便り

平成23年 11月15日
広島市立広瀬小学校
校長 中田 浩志

6年生が修学旅行に行きました。

10月25日(火)、26日(水)に6年生が修学旅行に行きました。昨年度までと比べて、大幅に行き先を変更しました。

変更した場所は、秋吉台サファリランド・地引網体験・トロッコ列車・門司港見学です。残念なことに天候のため、地引網体験は中止となり、その代わりとして萩焼絵付け体験となりました。

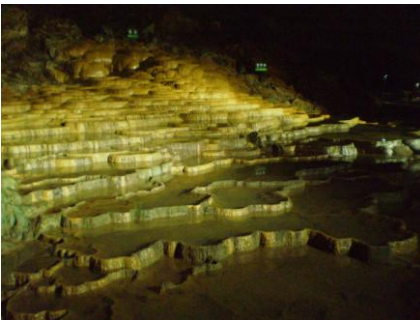
その他には例年通り、秋芳洞・秋吉台・海響館に行ってきました。

一生に一度の小学校での修学旅行。子どもたちは、仲間とともに深まりゆく秋の景勝地を存分に見学し、たくさん話をし、思い出を作って帰ってきました。

【子どもたちの感想より】

秋芳洞

・秋芳洞に入ったら、すごく暗かったです。でも洞くつの中を探検していると、だんだん明るくなっていって、百枚皿が見えてきました。ものすごい数の皿にびっくりしました。それから歩き続けていると、つららのような岩やがんくつ王が見えました。すごく怖かったです。たまたま人間の顔のようになったものもありました。この石や岩が水によって形づけられた物だと思えば、不思議な気持ちになりました。自然の美しさや、自然の不思議さに感動しました。(永井 蓮)



・秋芳洞の中にはたくさんの形の石灰石がありました。ぼくが一番感動したのは黄金柱でした。自然の力で百年で1センチメートルぐらいしかのびないのに高さ15メートル、直径4メートルあるというのを聞いてすごい自然の力だなと思いました。

(貫名 恵真)

・秋芳洞では自然にできていたのですごく良かったです。一番印象にのこったのは、百枚皿、黄金柱です。百枚皿は、名前が百枚となっているけど、本当は、約五百枚なので、びっくりしました。また、黄金柱は本当に金色だったのでびっくりしました。(榎本 実)

秋吉台

・秋芳洞からバスでちょっと上がったところに、秋吉台がありました。行く前には、草原

があるとは思いませんでした。着いたら、ほかの観光の人たちも見に来ていました。こんなに広い場所だから、走ってみたらすごくすずしい風が吹いて気持ちよかったです。いろいろな所を探検したり遊んだりして集合時間までみんなで走って遊びました。

(寺西 菜々子)

秋吉台サファリランド

・秋吉台サファリランドでは、バスに乗ってサファリの中を見学しました。動物園より近くで動物が見られてすごかったです。その中でもゾウとラクダが一番バスの近くに来ました。バスにあたるんじゃないかなと思ってちょっとこわかったです。

(田中 優奈)



海響館

・下関にある海響館に行きました。最初にみんなでイルカとアシカのアクアショーを見ました。迫力まんてんてんすごかったです。見た後、班で館内を見学しました。ぼくが一番印象に残った生き物は、ピラルクという魚です。ピラルクは最長で3メートルもの大きさになるそうです。食べ物は、最初に甘エビ頭の部分、次にししゃもを食べます。ぼくが見たピラルクが2メートルもの長さだったのにまだ大きくなることを知ってびっくりしました。

(佐々木 一成)



・最初に見たアクアシアターで、わたしは最前列だったので、イルカがジャンプするとその水しぶきが足にかかりました。イルカのきれいなジャンプはとても迫力がありました。海響館には、アシカ、イルカ、ペンギン、アザラシ、ハリセンボンなどめずらしい生き物がたくさんいました。その中でもすごかったのはペンギンです。ペンギンのプールの深さはすごく深かったです。その深い水の中をペンギンはスーッと泳いでいくのを見ました。

(花本 若奈)

トロッコ列車

・海響館を出て船に乗って、昼食を食べてトロッコ列車に乗りました。トロッコ列車は時速15キロメートルで関門海峡の流れの速さが時速13キロメートルで関門海峡潮の流れと同じくらいなのがびっくりしました。トロッコ列車がトンネルに入ると、天井が光って色々な魚たちがあらわれました。魚の群れの中にはモアイ像があって、あわの中にはムククのさげび的なものがあったので楽しいトロッコ列車の旅でした。

(山本 実果)

